

千葉大学医学部附属病院で行われている 脂肪細胞を用いた新たな治療法の開発研究について

2020年2月7日
千葉大学医学部附属病院
糖尿病・代謝・内分泌内科
形成・美容外科
未来開拓センター

現在、糖尿病・代謝・内分泌内科、形成・美容外科、未来開拓センターでは、「遺伝子治療用ヒト脂肪細胞の調製と有効性・安全性に関する研究」を行っています。この研究では参加された方から採取された脂肪細胞と血液を利用させていただきます。このような研究試料が、この研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、文末に記載されている窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

遺伝子治療用ヒト脂肪細胞の調製と有効性・安全性に関する研究-ヒト脂肪組織を用いた細胞調製法・移植用製剤の最適化研究-

2. この研究の意義

千葉大学では、患者さん本人の皮下脂肪を採取し、取り出した脂肪細胞へ病気を治療するための有効な遺伝子を組み入れて、その脂肪細胞を患者さんへ移植し戻すことによって、遺伝性疾患を治療する遺伝子治療法の研究を進めています。この研究を進めることにより、将来、いろいろな遺伝性疾患の治療法を実現させたいと考えています。

この研究では、参加いただいた方から採取された脂肪細胞（脂肪組織）を用いて、治療に有効と考えられる遺伝子を組み入れた脂肪細胞を作り、新しい治療法として実用化するための実験をおこないます。遺伝子を組み入れた脂肪細胞は、試験管での実験や動物に投与する実験をおこなって調べ、治療に使える能力を持っているかどうかを評価することに用います。この研究の目的は、これらの実験により、いろいろな遺伝性疾患の治療法を実用化するための技術を開発することです。また、以前に参加された以下の3項に記載している研究と目的に違いはありません。

3. 研究の対象となる方

千葉大学大学院医学研究院で実施されていた「遺伝子治療用ヒト脂肪細胞の調製と有効性・安全性に関する研究」に文書で同意を頂き参加された健常人の方および形成・美容外科で手術をされた患者さん

4. 研究の方法

対象となる方からあらかじめ同意をいただいて当科で凍結保存されている脂肪細胞と血液を試料として用います。

参加の同意をされた際に、取得された情報（性別、生年月、年齢、身長（問診）、体重（問診）、既往歴、合併症（併存症））を研究に利用します。

この研究は、参加いただいた方から採取された脂肪細胞（脂肪組織）を用いて、治療に有効と考えられる遺伝子を組み入れた脂肪細胞を作り、新しい治療法として実用化するための実験をおこないます。遺伝子を組み入れた脂肪細胞は、治療に使える能力を持っているかどうかを、試験管での実験や動物に投与する実験をおこなって調べることに用います。

5. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。参加された方の氏名などの個人情報は対応表によりコード化され匿名化されるため一切公表はされません。対応表については当院の研究責任者が適切に管理しています。

この研究は千葉大学医学部附属病院の糖尿病・代謝・内分泌内科、形成・美容外科、未来開拓センターの研究者と千葉大学発のベンチャー企業であるセルジェンテック株式会社が、共同で行っている研究です。セルジェンテック株式会社は、この研究の一部を他の外部企業と共同で研究開発を進めており、保管されていた検体や本研究で得られた結果や情報を、千葉大学の研究者及びこれらの関連企業の研究者が利用します。また、医学雑誌などでの公表、治療法としての実用化研究資料、将来的にこの治療法を厚生労働省に承認申請する際には、申請資料の一部として利用される場合があります。

また、正しくこの研究が行われているかどうかを確認するために、病院の職員、倫理審査委員会、厚生労働省の関係者が、あなたに関する情報が記載されている資料を閲覧することがあります。また、外部企業の詳細をお知りになりたい場合は以下の問い合わせ先にお問い合わせください。

6. 研究責任医師（研究責任者）

千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 横手 幸太郎

-----以上